

評価基準

区分	評価項目	評価の視点 指標	配点	
技術点	業務提案内容	計画体系に関する提案	<ul style="list-style-type: none"> 本市の特性と課題、現在の第8次総合計画を踏まえた新しい計画体系の提案があるか。 本市の個別計画やSDGs等との関係性は考慮されているか。 	15点
		スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 各業務について、本市と受注者の役割分担が明確になっているか。 効率的かつ実現可能なスケジュールになっているか。 	5点
		市民討議会	<ul style="list-style-type: none"> 十分に議論を深めた上で、効果的に意見を集約するための体制構築、運営方法の提案はあるか。 計画への結果反映方法 	5点
		庁内会議	<ul style="list-style-type: none"> 適切な施策立案に必要な情報提供、専門的見地に基づく助言が期待できる運営体制であるか。 計画への結果反映方法 	5点
		市民意向の把握	<ul style="list-style-type: none"> 特に中学生、高校生をはじめとする若い世代の市民ニーズを汲み取る有効な手法の提案があるか。 	5点
		現状把握 将来動向調査	<ul style="list-style-type: none"> 独自の人口推計等、本市の地域特性を的確に把握・分析できる内容であるか。 分析結果を的確に計画へ反映させる手法の提案はあるか。 	15点
		提案の独創性	<ul style="list-style-type: none"> その他、本市にとって有益な独自提案は示されているか。 	15点
	業務体制	事業者	<ul style="list-style-type: none"> 人員配置等、円滑な業務実施を期待できる実施体制であるか。 他自治体の先進事例等、業務に必要となる情報提供が期待できるか。 	5点
		主担当者	<ul style="list-style-type: none"> 以下業務のいずれかに従事した経験を持ち、専門的知見に基づく業務実施が期待できるか。 (1) 元請として自治体が発注した総合計画策定業務 (2) 元請として自治体が発注した総合戦略策定業務 (3) 元請として自治体が発注したSDGs未来都市計画策定支援業務	5点
		プレゼン	<ul style="list-style-type: none"> 説明が理解しやすく説得力があるか。 質問に対する回答が適切か。 業務に対して積極性が感じられるか。 	5点
価格点	見積書	<ul style="list-style-type: none"> 提案に対し、コストが適正であるか。※最低見積価格/当該業者の見積価格×20点で計算。端数は切り捨てとする。 	20点	
合計			100点	